

〔国際会議発表〕

発表研究者	宮崎大学農学工学総合研究科 博士後期課程 2 年 櫻井 啓子	2162002
参加会議	World Automation Congress 2016 Japan Satellite Session	
出張期間	2016 年 8 月 6 日～8 月 7 日	
開催場所	プエルトリコ (姫路市 日本) ※ジカ熱発生に伴い急遽開催された Japan Satellite Session にて発表	
発表論文	A Study on Gaze Estimation System using the Direction of Eyes and Face, 眼と顔の動きを使用した視線推定の研究	

概 要 :

World Automation Congress (WAC) は自動化, 制御技術, 医療情報技術等に関する研究成果を発表する場であり, 当国際会議は 2 年に一度開催され, 本年度で 12 回目を迎える国際会議である。今回, 兵庫県姫路市で開催された WAC 2016 Japan Satellite Session にて口述発表を行った。

本研究では, 肢体不自由者や言葉を発することが出来ない患者の生活の質 (Quality Of Life) の低下や日常生活動作の低下を防ぐために, 顔を自由に動かせる環境下での眼と顔の動きを使った視線推定によって肢体不自由者等の患者のコミュニケーションを図るシステムを開発することが目的を目的とし, 口述発表を行った。

当国際会議参加の目的と意義は以下であり, 大変有意義な機会となった。

- 1) 本研究を世界の研究者・学者に対して披露し, 討議することでより効果的, 実用的な生体工学のあり方を模索すること。
- 2) 博士後期課程の学生としてだけでなく, 研究者を目指すものとして国際会議の発表を行うことで研究実績をつむ。
- 3) 自身の研究分野だけでなく, 他分野の研究最新動向を知る。

発表後の質疑応答では, 研究手法の実現の難しさや患者への実用に向けての評価方法などについての質問があった。また, 幅広い学者からの評価, 意見を得ることが出来た。本国際会議に参加することで, 今後の研究の在り方を考え, 視野を広げる良い機会となったことが参加して得られた成果である。このような貴重な経験を今後の研究に役立てていきたいと考えた。